

式典行事

概要

令和6年11月10日(日)、iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ(大分市)において、天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、全国各地から招待者など867名が参加し、式典行事を執り行いました。

進行表

時間	プログラム・次第	内容・出演者等
8:00	開場	各種案内、大分県PR映像など
プロローグ～ご案内・奉迎準備		
9:35	プロローグ	第1章 第1回大会から受け継がれる大分県のつくり育てる漁業 第2章 つくり育てる漁業の新たな挑戦 第3章 未来へバトンをつなぐために ナビゲーター：KEIKO、マーク・バンサー 私立大分東明高等学校バトントワリング部／大分県立由布高等学校郷土芸能部
10:14	式典補助員・音楽隊等紹介	式典補助員：大分県立大分西高等学校 式典音楽隊：iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ
10:17	登壇者紹介	司会者より登壇者を紹介
式典行事		
10:26	天皇皇后両陛下御臨席	
	大会旗入場	鼓笛隊：私立千代町幼稚園 旗手団：大分県立海洋科学高等学校 受 取：大分県知事
	開会のことば	大分県漁業協同組合代表理事組合長
	国歌斉唱	
	主催者あいさつ	大会会長、大分県知事
	歓迎のことば	大分市長
	天皇陛下のおことば	
	表彰(功績団体等)	功績団体表彰受賞者代表、作品コンクール受賞者代表
	最優秀作文の発表	大会会長賞受賞者代表
	稚魚等のお手渡し	お受け者：神崎隆実、近乗美信、三木節夫、田中浩二 介 添 え：大分県立大分西高等学校
	海づくりメッセージ	豊かな海づくりに向けた活動実践者よりメッセージ 山田和幸・あゆみ、山田博一、足利慶聖、末廣奈津子
	大会決議	豊かな海づくり大会推進委員会会長
	大会旗引継ぎ・次期開催県あいさつ	大分県知事、三重県知事
	閉会のことば	大分県議会議長
	天皇皇后両陛下御退席	
受賞者紹介映像～エピローグ		
11:27	受賞者紹介映像	受賞者紹介映像を上映
11:33	休憩	
11:47	表彰式	功績団体表彰受賞者、作品コンクール受賞者
12:02	エピローグ	ナビゲーター：KEIKO、マーク・バンサー 関の鯛つり唄・おどり保存会 大分市立佐賀関中学校 貴美千佳の会 津久見樫の実青少年少女合唱団
12:20	終了	

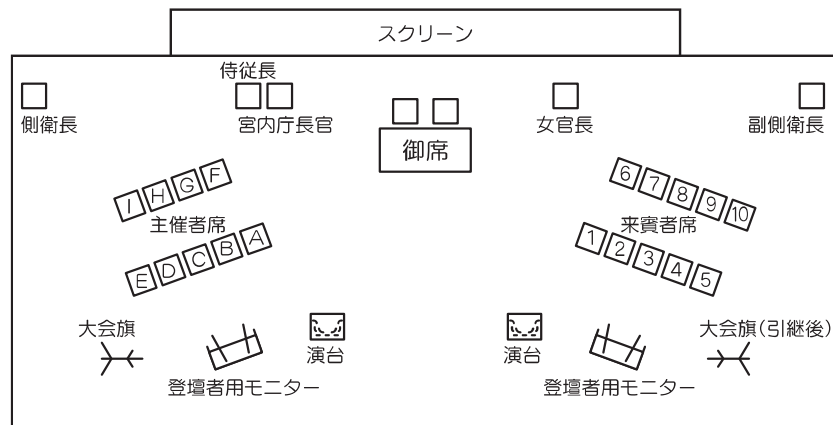
式典行事

式典行事会場

iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ



ステージ座席表



■主催者席

- A 大会会長(前衆議院議長)
- B 豊かな海づくり大会推進委員会会長
(全国漁業協同組合連合会代表理事会長)
- C 大分県知事
- D 大分市長
- E 別府市長
- F 大分県議会議長
- G 大分市議会議長
- H 別府市議会議長
- I 大分県漁業協同組合代表理事組合長

■来賓者席

- 1 農林水産大臣
- 2 環境大臣
- 3 水産庁長官
- 4 三重県知事
- 5 最優秀作文発表者
- 6 大会会長賞受賞者(功績団体)
- 7 農林水産大臣賞受賞者(功績団体)
- 8 環境大臣賞受賞者(功績団体)
- 9 水産庁長官賞受賞者(功績団体)
- 10 大分県知事賞受賞者(作品コンクール)

プロローグ

第1章 第1回大会から受け継がれる大分県のつくり育てる漁業



第1回大会の様子

昭和56年に開催された第1回大会を振り返り、その後県内各地で進められたつくり育てる漁業や「関あじ・関さば」などの全国に先駆けた水産物のブランド化等の取組を映像で紹介しました。



平成5年から始まった県下一斉休漁日



全国に先駆けた意欲的な取組(ブランド化)



本県水産業の映像に合わせ、第1回大会にも出演した私立大分東明高等学校バトントワリング部が演技

第2章 つくり育てる漁業の新たな挑戦



KEIKOさん、マーク・バンサーさん(globe)

ナビゲーターのglobeのお二人も登場し、大分県の豊かな海を次世代へつないでいくための取組を紹介しました。

第2章では、リニューアルされた大分県種苗生産施設を核とした拠点放流による資源造成や、マーケットや環境変化に対応した養殖業への転換に取り組む漁業者たちの新たな挑戦の姿を、インタビューを交えて紹介しました。

式典行事



漁師一人ひとりが思っている取り組みについて
マコガレイの拠点放流に取り組む別府湾の漁業者：中山公夫さん
資源回復への意気込みを語る



ブランド化をすることで付加価値をのせながら
安定した価格で販売できる
全国有数の養殖ブリ生産地、佐伯市入津湾の養殖業者：浪井大喜さん
ブランド化や産地加工による高付加価値化の大切さを語る

第3章 未来へバトンをつなぐために



市民による環境保全活動

未来へ豊かな海のバトンをつなぐため、本県では、漁業者だけではなく、県民総参加でこれからの豊かな海づくりに取り組んでいきます。

第3章では、その具体例を紹介するため、ナビゲーターのマーク・バンサーさんが県内各地で取り組まれている活動取材し、その重要性を伝えました。



高校生のアイデアによる藻場保全の取組



藻場だったり海藻が増えて
あたりの魚が増えてほしい



県内小学校での魚食普及活動



最後に大分県立由布高等学校郷土芸能部による、海の神への感謝の念が込められた神楽「貴見城」が披露されました。

式典行事

天皇皇后両陛下御臨席

式典音楽隊による演奏がはじまり、天皇皇后両陛下が式典会場に御入場されました。



式典行事

大会旗入場

私立千代町幼稚園の鼓笛隊の先導により、大分県立海洋科学高等学校の旗手団が入場し、旗手団長から大分県知事へ大会旗が手渡されました。



式典音楽隊：iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ



式典補助員・稚魚等のお手渡し介添え：大分県立大分西高等学校